

長野市民病院から  
知っておきたい  
医療の知識

147



現在、多くの病院で「緩和ケア」が行われています。今回はこの緩和ケアで使われる薬について紹介しましょう。

緩和ケアは、病気に伴う心と体の痛みを和らげるために行う治療のことです。入院患者さんの中には、緩和ケ

米沢 亮



師  
薬剤部薬剤科（薬剤

師）  
安薬など、後者に対しては医療用麻薬や非ス

さまざまな分野の薬  
緩和ケアでは、主に不安などの精神的な苦痛と、痛みなどの身体的な苦痛を取り除く薬を使います。

さまざま

アを行うチームが訪れると「もう私は治療ができないのか」「もう長くないのか」などと思う人がいますが、そうではありません。病気の程度や進行度とは関係なく、「苦痛」を取り除くお手伝いをするのが緩和ケアなのだーと知っておいてください。

## 緩和ケア

痛み



## 適切な薬で心と体の痛みを取る

テロイド性鎮痛薬、スロイド薬、抗うつ薬、抗けいれん薬、抗不整脈薬、抗不安薬、骨治療薬などを使います。

### 誤解の多い医療用麻薬

「痛みに抗う薬？」と疑問を持つ人もいます。抑える作用があります。苦痛を取り除くために、

るのではないかと「中毒になるのではないかと」思う人がいます。

医療用麻薬は、痛みが軽減していけば徐々に量を減らし、やめることも可能です。また、痛みがある患者さんに適切な量を使う場合には、中毒にならないことが分かっています。

かつては、中毒になるからと10<sup>ミグ</sup>という少量のモルヒネを使うかを渋る時代もありました。しかし現在では、医療用麻薬の適切な使い方の基準ができています。私自身、患者さんの苦痛を取り除くためにモルヒネ4千

ミグ相当の量を使用しても中毒にはならなかった例を経験しています。ドラッグストアなどで処方箋なしで買える鎮痛薬の多くが胃に負担を掛けるのに対し、医療用麻薬は胃潰瘍の人にも使えますし、鎮痛効果も高い特徴があります。吐き気や便秘などの副作用は予防ができ、正しく使えば普通の薬と同じです。怖がらなければならぬ薬ではないのです。

緩和ケアは、患者さんのために医療者が適切に、責任を持って行っています。「令和」の新時代では、多くの人が苦痛なく、笑顔で毎日を送れるようになることを願っています。